

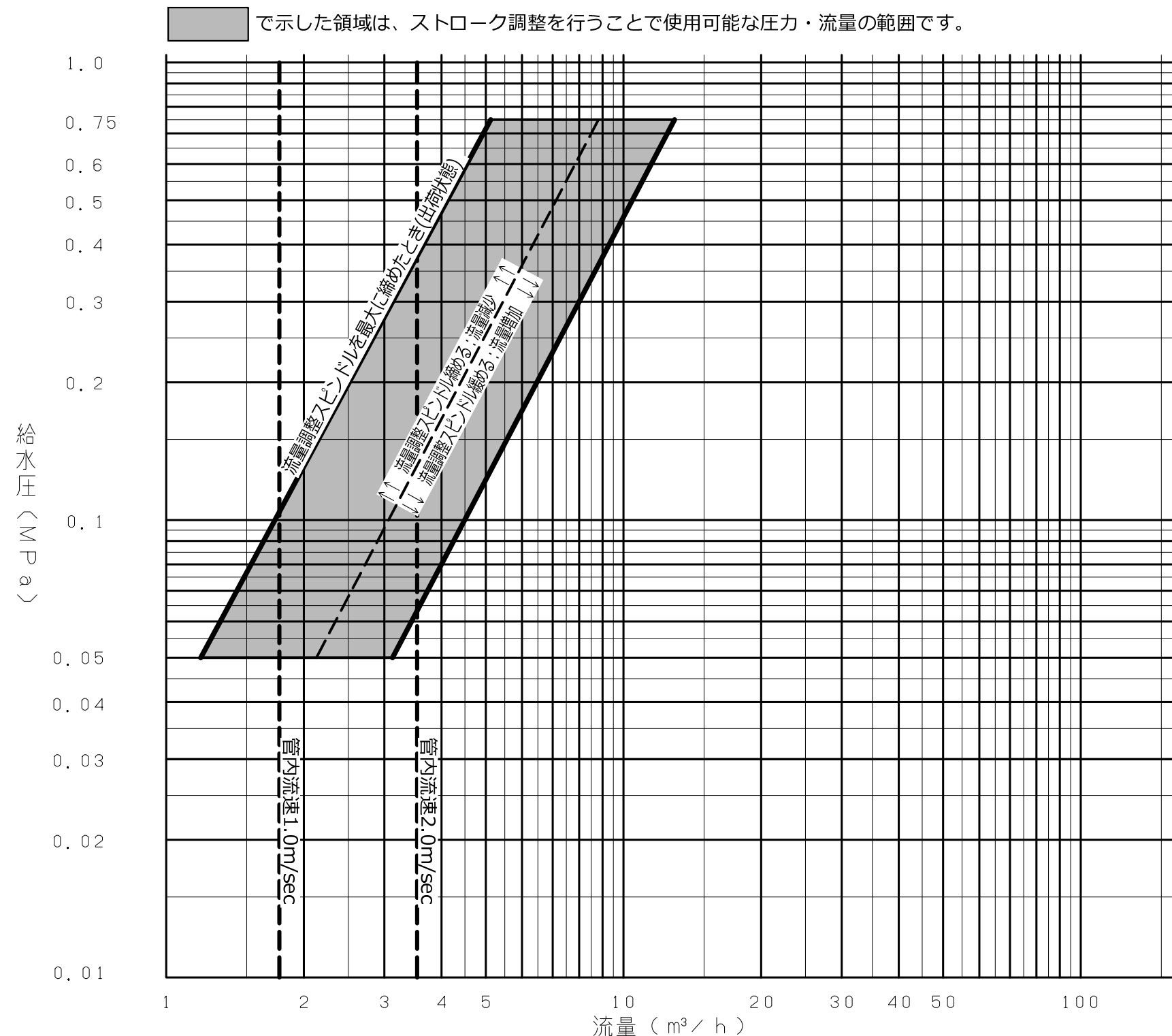
F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV25

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

＜流量表＞

適用圧力：0.05MPa～0.75MPa

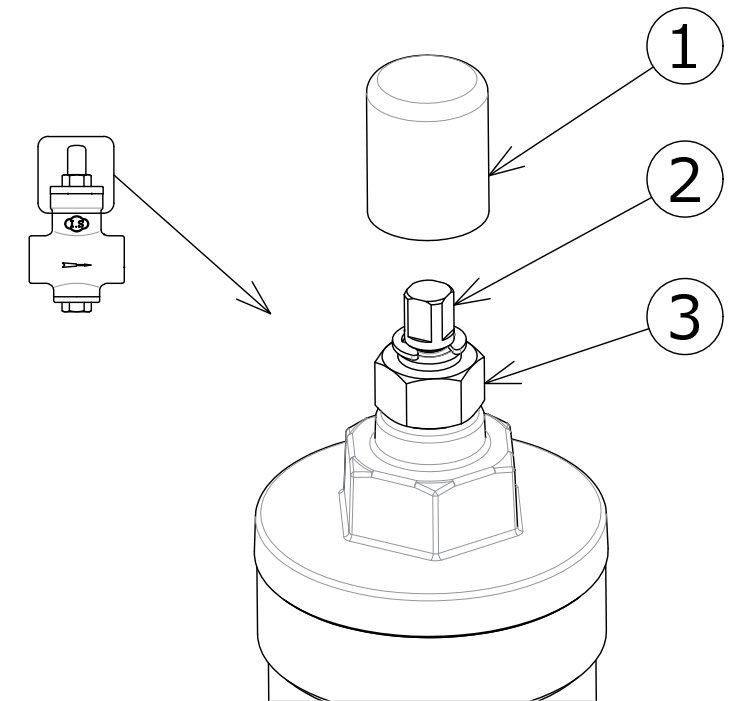
出荷状態は、最小の流量となるストローク調整となっています。



----- 破線は、管内流速1.0m/secおよび2.0m/secに対応した流量を表しています。
管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。
管内流速(m/sec) = 流量(m³ / h) / 管内断面積(mm²) × $\frac{1000000}{3600}$
単位変換係数

＜ストローク調整手順＞

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、
③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。
(下の注記表参照)
4. 制水弁（止水弁）を開き、
③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



・注意事項 1

②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。

・注意事項 2

流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

＜注記表＞

	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを 締めたとき	流量調整スピンドルを 緩めたとき
定水位弁の流量	減少 ↓	増加 ↑

- ・ 流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・ 弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・ 流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。
実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。

作成：2022/10/21

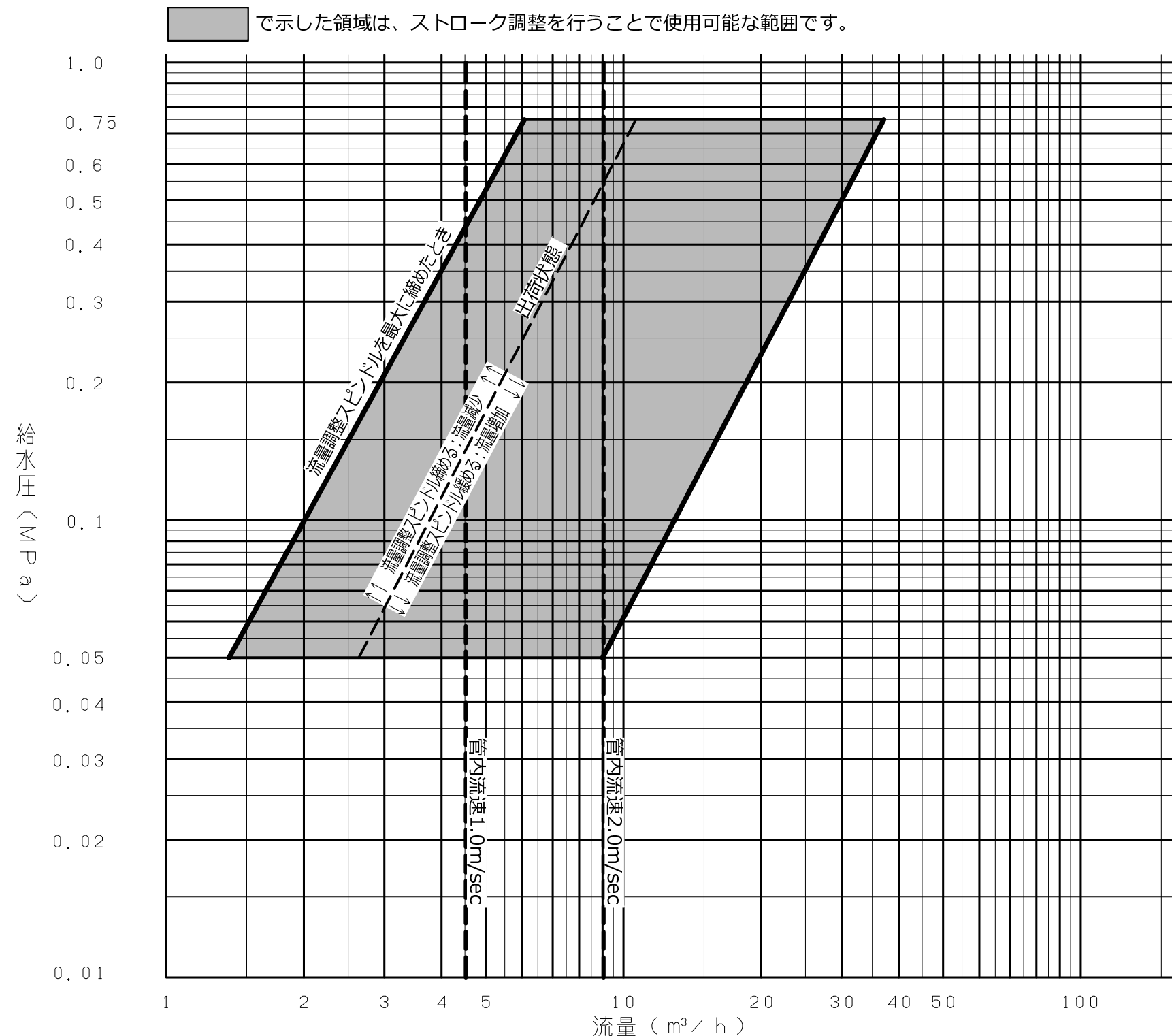
F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV40

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

＜流量表＞

適用圧力：0.05MPa～0.75MPa

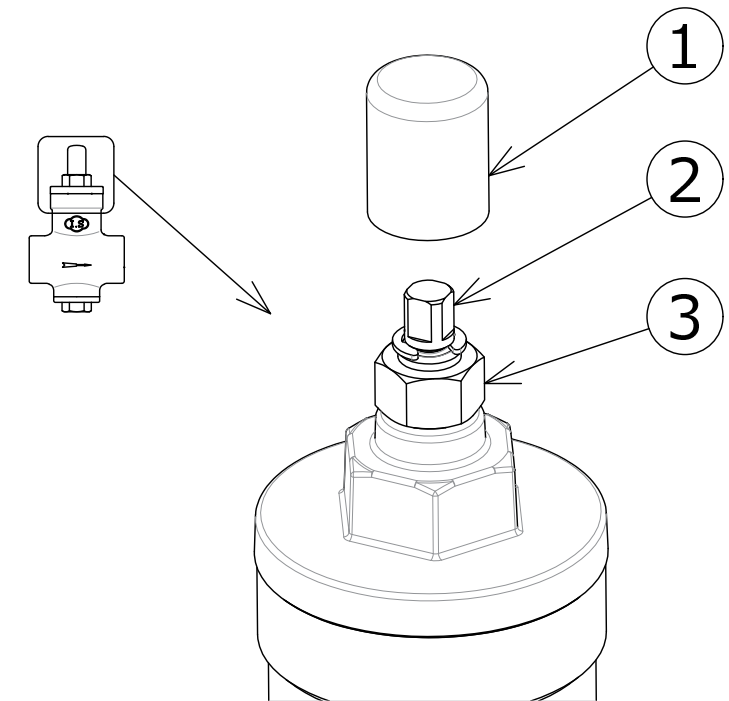
出荷状態は、破線で表した流量と圧力の関係となるストローク調整となっています。



----- 破線は、管内流速1.0m/secおよび2.0m/secに対応した流量を表しています。
管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。
管内流速(m/sec) = 流量(m³/h) / 管内断面積(mm²) × $\frac{1000000}{3600}$
単位変換係数

＜ストローク調整手順＞

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。
（下の注記表参照）
4. 制水弁（止水弁）を開き、③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



・注意事項 1

②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。

・注意事項 2

流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

＜注記表＞

	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを締めたとき	流量調整スピンドルを緩めたとき
定水位弁の流量	減少↓	増加↑

- ・ 流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・ 弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・ 流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。

作成：2022/10/21

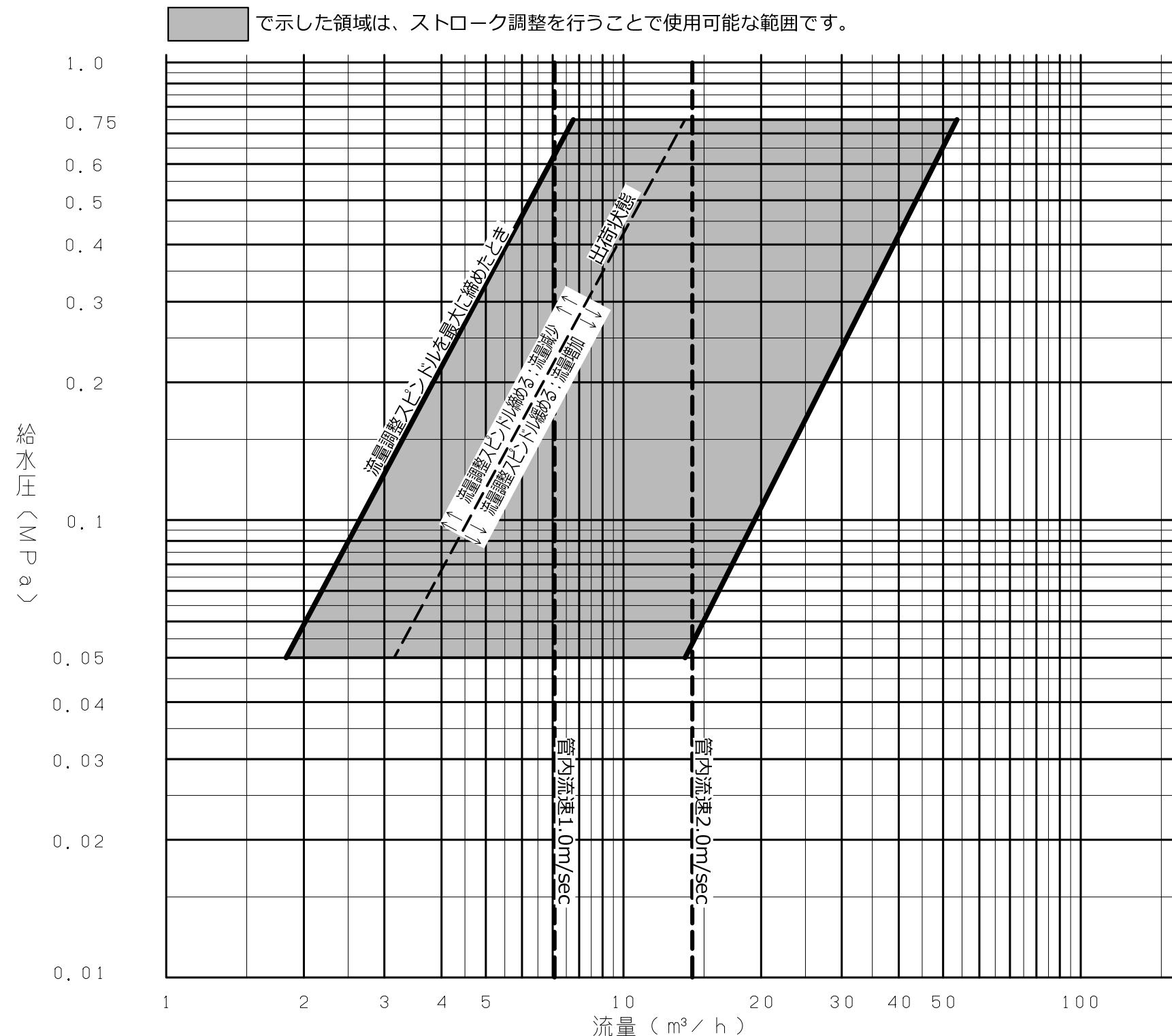
F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV50

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

＜流量表＞

適用圧力：0.05MPa～0.75MPa

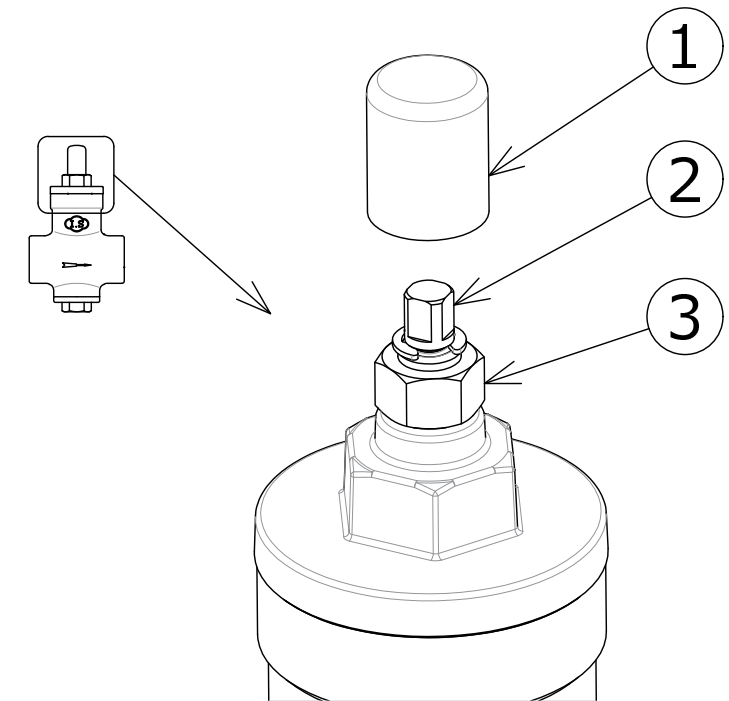
出荷状態は、破線で表した流量と圧力との関係となるストローク調整となっています。



----- 破線は、管内流速1.0m/secおよび2.0m/secに対応した流量を表しています。
管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。
管内流速(m/sec) = 流量(m³ / h) / 管内断面積(mm²) × $\frac{1000000}{3600}$
単位変換係数

＜ストローク調整手順＞

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。
(下の注記表参照)
4. 制水弁（止水弁）を開き、③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



・注意事項 1

②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。

・注意事項 2

流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

＜注記表＞

	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを締めたとき	流量調整スピンドルを緩めたとき
定水位弁の流量	減少 ↓	増加 ↑

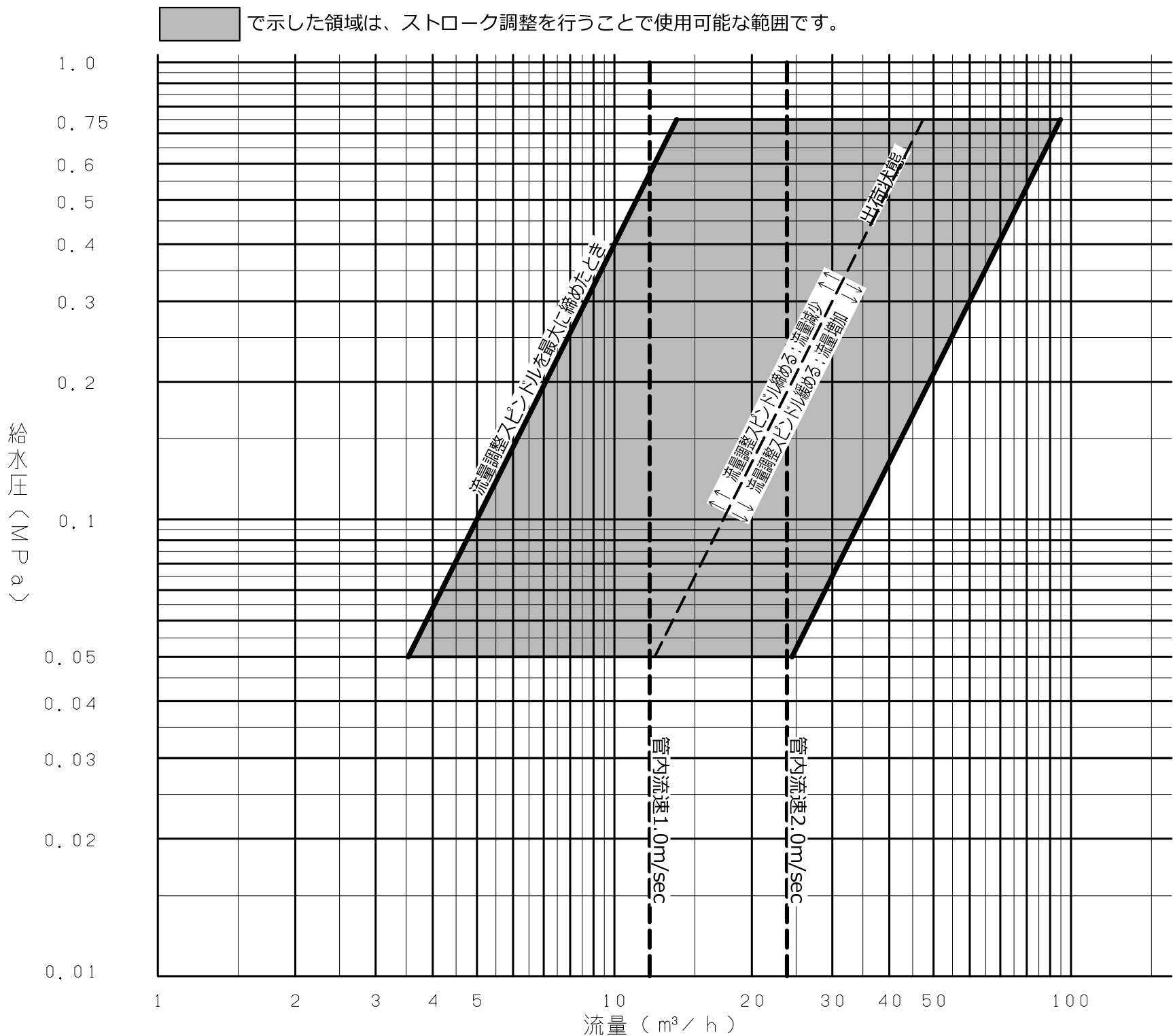
- ・ 流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・ 弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・ 流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。

作成：2022/10/21

F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV65

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
 2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

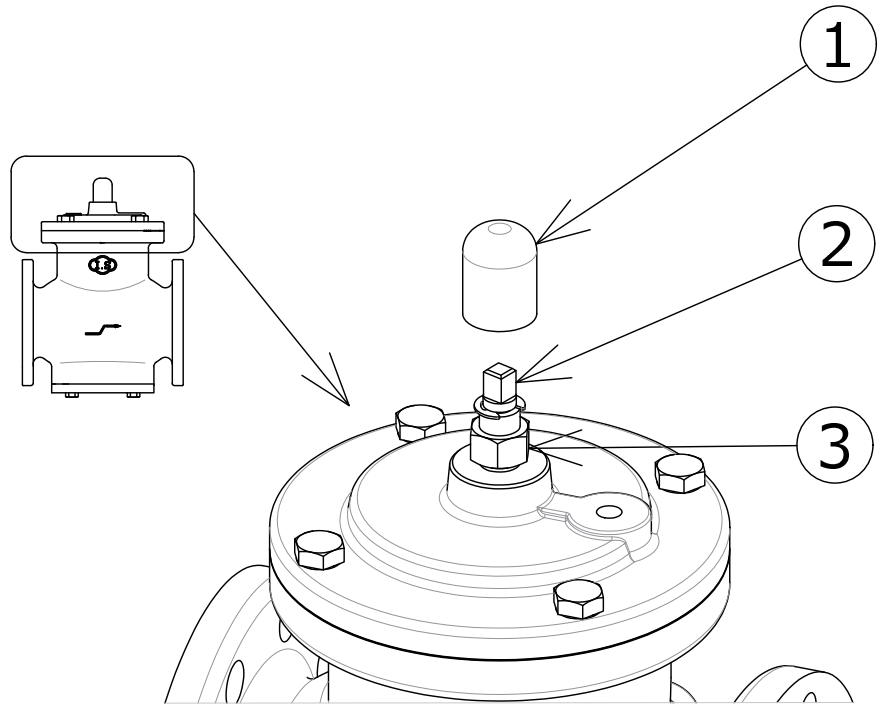
＜流量表＞
 適用圧力：0.05MPa～0.75MPa
 出荷状態は、破線で表した流量と圧力の関係となるストローク調整となっています。



----- 破線は、管内流速1.0m/secおよび2.0m/secに対応した流量を表しています。
 管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。
 管内流速(m/sec) = 流量(m3 / h) / 管内断面積(mm2) × $\frac{1000000}{3600}$
単位変換係数

＜ストローク調整手順＞

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。（下の注記表参照）
4. 制水弁（止水弁）を開き、③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



- ・ 注意事項 1
 ②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
 ③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。
- ・ 注意事項 2
 流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

＜注記表＞	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを締めたととき	流量調整スピンドルを緩めたととき
定水位弁の流量	減少 ↓	増加 ↑

- ・ 流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・ 弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・ 流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。

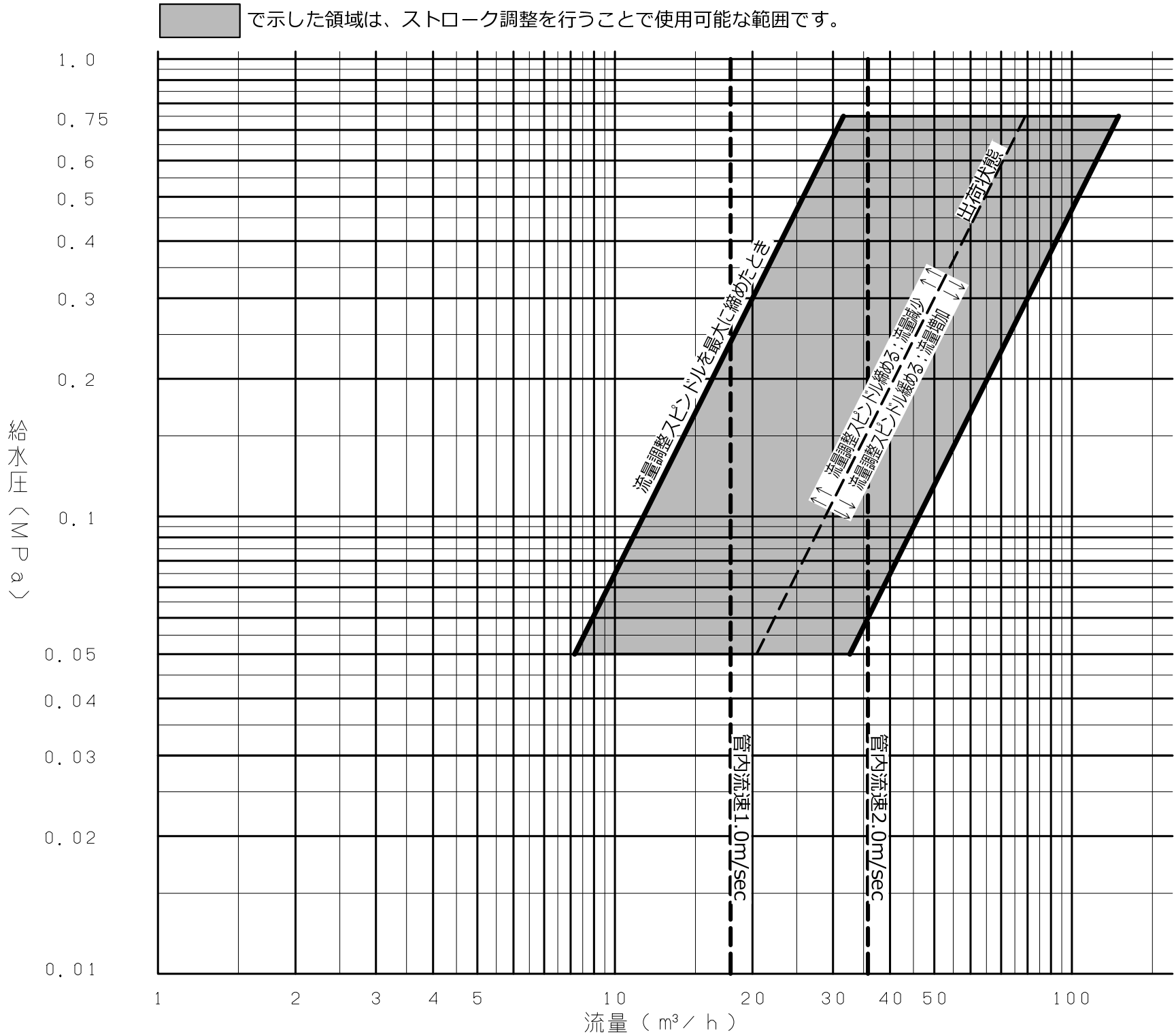
F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV80・FSV80BC

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

＜流量表＞

適用圧力：0.05MPa～0.75MPa

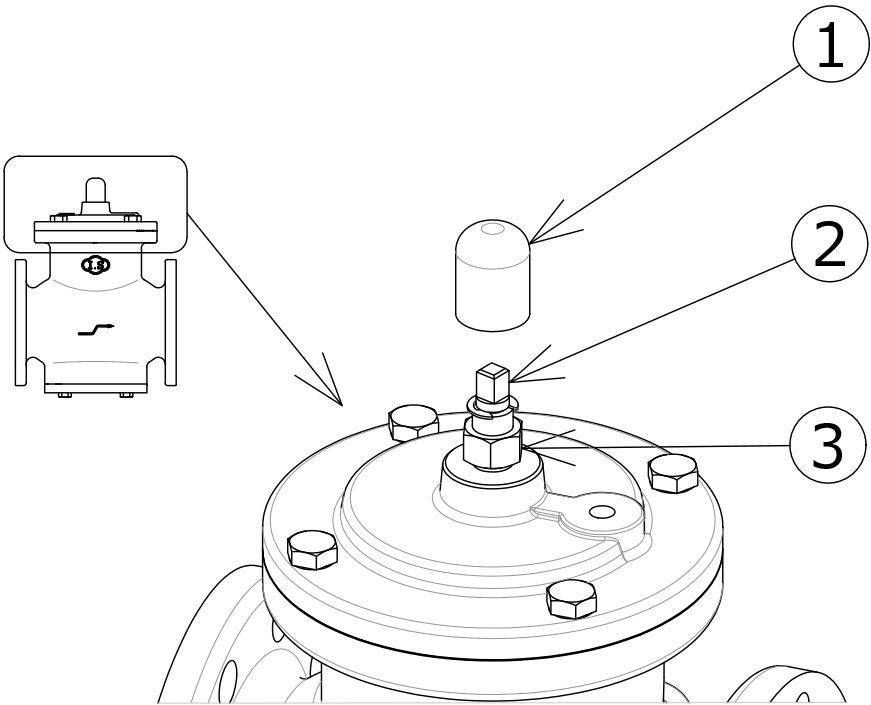
出荷状態は、破線で表した流量と圧力の関係となるストローク調整となっています。



----- 破線は、管内流速1.0m/secおよび2.0m/secに対応した流量を表しています。
管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。
管内流速(m/sec) = 流量(m³/h) / 管内断面積(mm²) × (1000000/3600)
単位変換係数

＜ストローク調整手順＞

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。（下の注記表参照）
4. 制水弁（止水弁）を開き、③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



- ・ 注意事項 1
②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。
- ・ 注意事項 2
流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

＜注記表＞	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを締めるとき	流量調整スピンドルを緩めるとき
定水位弁の流量	減少↓	増加↑

- ・ 流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・ 弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・ 流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。

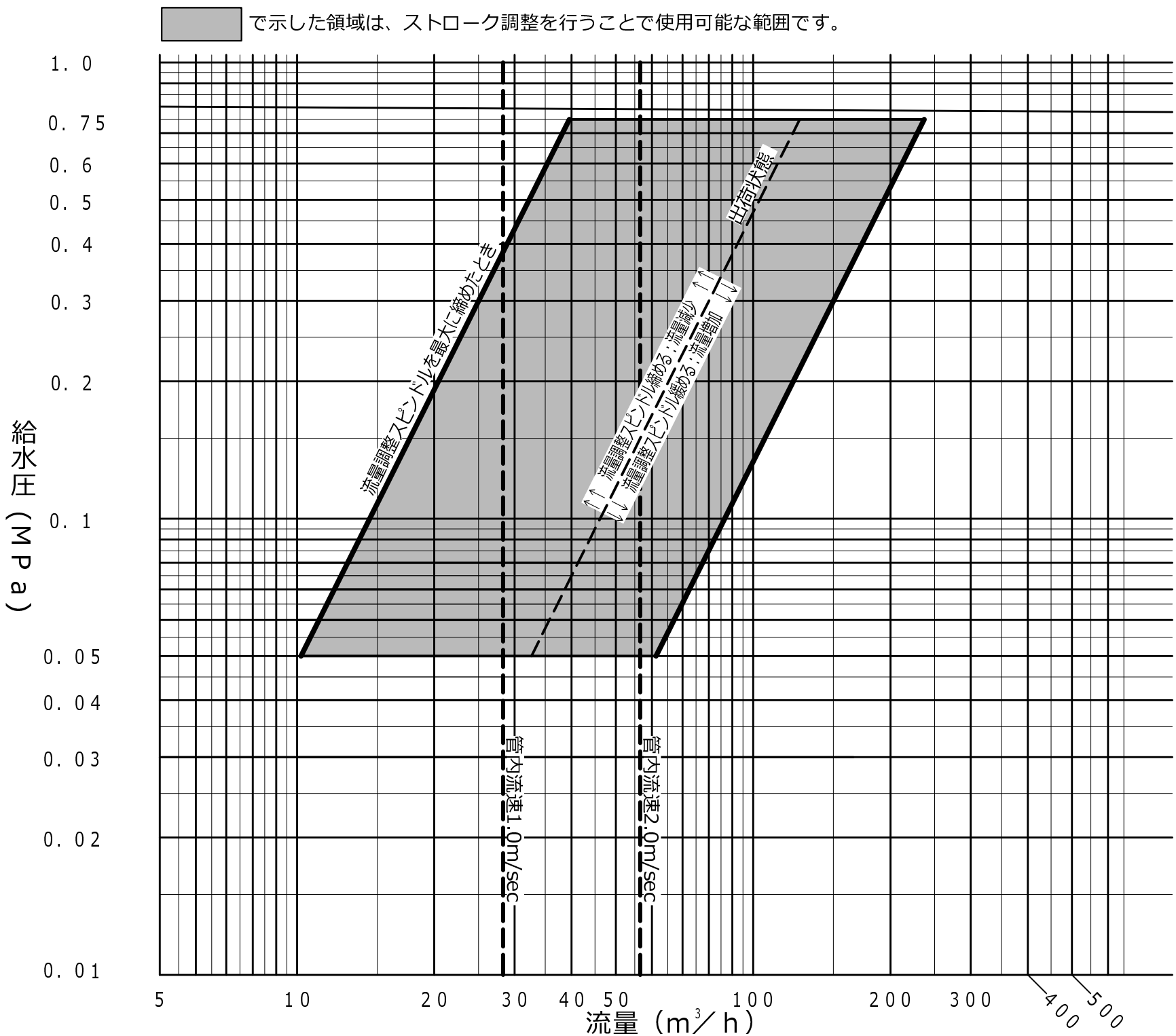
F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV100・FSV100BC

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

<流量表>

適用圧力：0.05MPa～0.75MPa

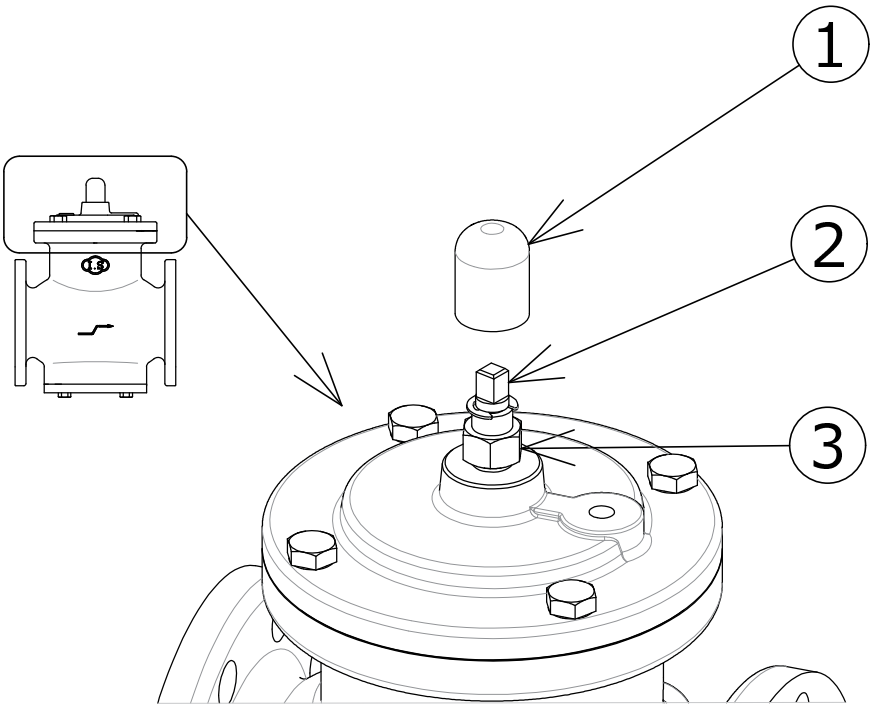
出荷状態は、破線で表した流量と圧力の関係となるストローク調整となっています。



----- 破線は、管内流速1.0m/secおよび2.0m/secに対応した流量を表しています。
管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。
管内流速(m/sec) = 流量(m³ / h) / 管内断面積(mm²) × $\frac{1000000}{3600}$
単位変換係数

<ストローク調整手順>

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。（下の注記表参照）
4. 制水弁（止水弁）を開き、③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



- ・注意事項 1
②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。
- ・注意事項 2
流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

<注記表>	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを締めるとき	流量調整スピンドルを緩めるとき
定水位弁の流量	減少 ↓	増加 ↑

- ・流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。

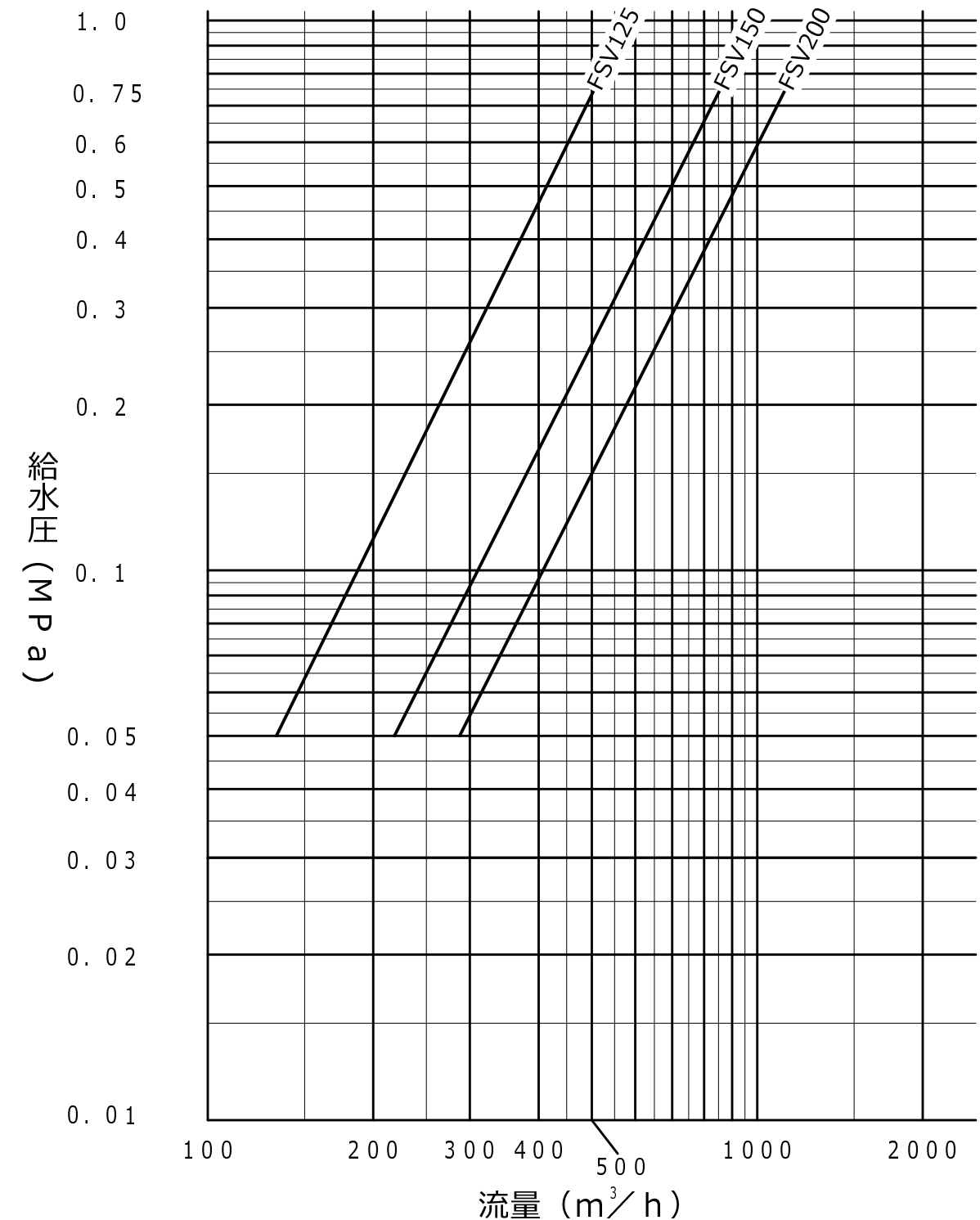
F号ボールタップ、流量表および調整方法 型番：FSV125・150・200

設置後は、使用環境に応じた「ストローク調整」と開閉動作の確認を行なってください。
2槽式の水槽に設置する場合は、各々の槽に設置するF号ボールタップで同じ調整としてください。

＜流量表＞

適用圧力：0.05MPa～0.75MPa

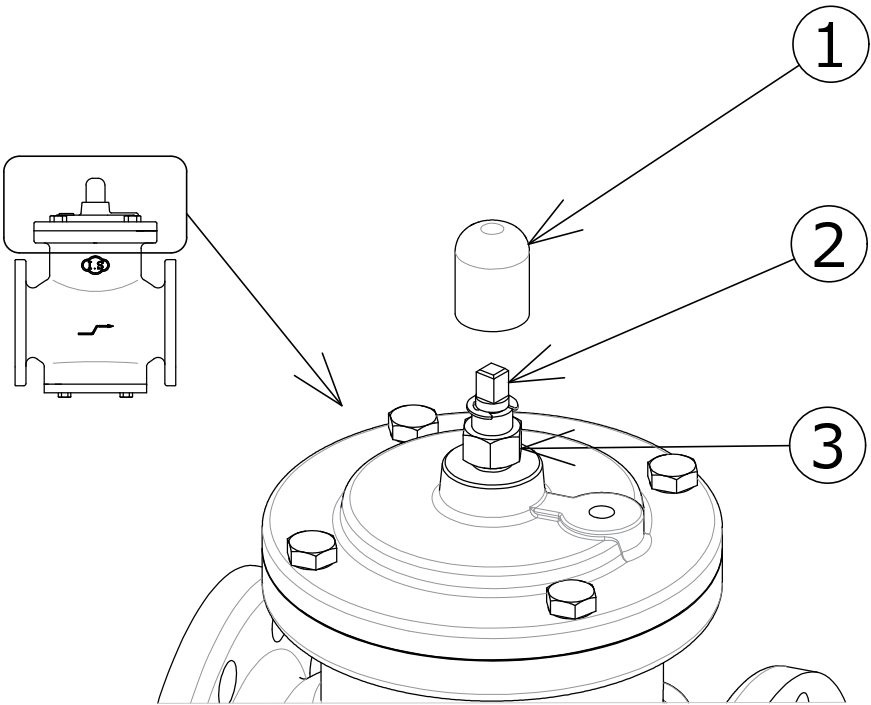
流量が最大となるストローク調整を行なったときの流量を示しています。



管内流速は、管内径=[呼び径]mmとし、管内に均等に流体が流れたとして、計算しています。

＜ストローク調整手順＞

1. 制水弁（止水弁）を締める。
2. ①の保護キャップをはずし、③のロックナットをゆるめる。
3. ②の流量調整スピンドルを調整する。（下の注記表参照）
4. 制水弁（止水弁）を開き、③のロックナットを締め込み、固定する。
5. F号ボールタップの作動テストを行なう。
6. 正常作動を確認後、保護キャップをする。



- ・ 注意事項 1
②の流量スピンドルには「Eリング」が取り付けられています。
③のロックナットと「Eリング」とが接触する状態が、流量スピンドルねじ込みの限度を表しており、限度を超えてねじ込むと、製品の破損や作動不良の原因となります。
- ・ 注意事項 2
流量調整スピンドルを大幅に締めると、使用条件によっては、流水音の原因となる場合があります。**流水音が気になる場合は、流量調整スピンドルを緩める調整を行なってください**

＜注記表＞	ストローク調整	
	流量調整スピンドルを 締めたとき	流量調整スピンドルを 緩めたとき
定水位弁の流量	減少 ↓	増加 ↑

- ・ 流量の調整が適切でない場合、F号ボールタップが正常に作動しない場合があります。
- ・ 弊社ホームページにもデータを掲載しております。
- ・ 流量表は、定水位弁の二次側を大気開放とした場合の実測値に基づいて作図したものです。実際の使用条件や配管の施工方法によっては、流量が異なる場合があります。